

「日本内視鏡外科学会」理事会議事録

会員各位

日本内視鏡外科学会

日 時：2008 年 9 月 1 日（月）13：15～16：15

会 場：パシフィコ横浜（神奈川）

出席者：北島政樹（理事長）、黒川良望（会長）、北野正剛（副会長）、伊熊健一郎、大島伸一、大橋秀一、木村泰三、小西文雄、白日高歩、谷川允彦、土屋了介、出沢明、万代恭嗣、東原英二、星合昊、松本純夫、森川利昭、森川康英、渡邊昌彦（以上、理事）、宮野武（監事）、清崎浩一、住永佳久、猪股雅史、（以上、総会幹事）

委任状：加藤紘之、清水信義（以上、監事）

欠席者：白石憲男（総会幹事）

1. 前回議事録の件

2008 年 4 月 16 日に開催された前回理事会の議事録について確認された。

2. 名誉会員・特別会員推戴の件

北島政樹理事長より、2007 年 11 月 19 日に開催された総会において推戴された下記の特別会員の推戴状授与式が、総会において執り行われることが報告された。

<特別会員>

江上 格 公立阿伎留医療センター
草野 満夫 昭和大学医学部附属病院一般・消化器外科
田尻 孝 日本医科大学外科学講座消化器一般乳腺移植外科分野
出口 修宏 埼玉医科大学腎臓病センター
林田 康男 順天堂大学医学部総合診療科
和田 洋巳 京都大学名誉教授／混志会学術顧問

3. 庶務報告

万代恭嗣理事より前回総会報告後より今回までの会員の推移が下記の通り報告された。

<2007 年 11 月 1 日～2008 年 7 月 31 日>

①会員数（2008 年 7 月 31 日現在）9,422 名

内訳

名誉会員	19 名
特別会員	51 名
評議員	573 名
正会員	8,760 名
コメディカル会員	12 名

学生会員	0 名
賛助会員	7 社
◆新入会	624 名
◆退会	
本人申出	142 名
死亡	7 名

②物故者（敬称略）

岡田	正	大阪大学名誉教授
大谷	吉秀	埼玉医科大学
木村	仁	群馬大学大学院
近藤	博	(医)北晨会恵み野病院
相馬	哲夫	東京医科大学霞ヶ浦病院
藤原	博	社会保険稲築病院
牧田	俊宣	牧田総合病院

4. 編集委員会報告

北島政樹主幹より、本年発行の第 13 巻の特集内容と論文採択率が下記の通り報告された（但し、下記の集計は 2008 年 8 月 26 日現在、2007 年 11 月～2008 年 7 月の編集会議にて審査されたものまでとなっている）。

1) 総投稿数 81 本

（原著 11, 症例報告 52, 手術手技 10, 私の工夫 7, 短報 1, その他 0）

2) 総採用数 70 本

（原著 8, 症例報告 52, 手術手技 7, 私の工夫 3, その他 0）

3) 総返却数 13 本

（原著 1, 症例報告 7, 手術手技 2, 私の工夫 3, その他 0）

4) 採用率 86.4%（総平均）

（原著 72.7%, 症例報告 100.0%, 手術手技 70.0%, 私の工夫 42.9%, その他 n/a）

5) 投稿（採用決定）から掲載までの平均期間 9 ヶ月

5. 倫理・渉外委員会報告

白日高歩委員長より「内視鏡外科ライブ手術ガイドライン」について前回理事会での訂正を反映したものが提示され、承認された。また、利益相反について議論していることが報告され、継続的に検討されることとなった。

6. 総務委員会報告

伊熊健一郎委員長より、「日本外科学会 女性外科医支援委員会」よりの女性医師と学会活動に関するアンケート調査に回答したことが報告され、今後とも協力していくこととなった。

7. 教育委員会報告

黒川良望委員長より委員会にて、以下の通り報告され、検討された。

①本年の教育セミナー実施状況が報告された。

- ②公認研究会・後援講習会の公認・後援状況について報告された。
- ③「内視鏡下結紮・縫合手技講習会」を本年は計 19 回開催したことが報告された。
- ④用語集改訂について、改訂作業を進め、ホームページ上での公開に向けて準備中であることが報告された。
- ⑤日本医学会を通して日本外科学会より依頼のあった「外科系医療技術修練の在り方に関する研究」に協力し、アンケート調査をとりまとめたことが報告され、結果を報告することが承認された。

8. 学術委員会報告

北野正剛委員長より、第 9 回アンケート調査について報告された。調査結果は学会誌第 13 巻 5 号に掲載される予定である。

また、アンケート調査実施時に実施したディスプレイ製品のリユースに関するアンケート結果について報告された。今回は実情把握のための調査であるので結果は公表せず、今後の学会活動に役立てる。

また、「内視鏡的肥満治療法に関する三学会合同委員会」（日本肥満学会、日本消化器内視鏡学会、本学会）について、研究会において 7 回のトレーニングコースを実施したこと、内視鏡的胃内バルーン留置術および腹腔鏡下胃バンディング術の高度医療の申請準備中であること、「NOTES に関する二学会合同委員会」（日本消化器内視鏡学会、本学会）の活動について NOTES 白書を作成したこと、研究会の開催、臨床研究登録制度の開始などが報告された。

「Asian Journal of Endoscopic Surgery」の第 1 号（Free Copy）の発刊が報告された。今後の発刊については評議員への購読義務、それに伴う会費増額などについて議論が必要であることが指摘され、継続的に審議することとなった。

9. 保険委員会報告

小西文雄委員長より、評議員へのアンケートを基に、外保連に 2 項目の要望と昨年に要望したのが記載されなかった 9 項目について再度提出したことが報告された。

10. 規約委員会報告

大島伸一委員長より、本学会定款・施行細則について特に改訂がないことが報告された。

大橋秀一評議員選考委員長より、評議員選出に関する各書類を統一するため、施行細則の改訂が要望された。

11. 国際委員会報告

万代恭嗣委員長より以下の通り報告された。

① 2008 年 4 月 10 日に開催された IFSES Executive Board Meeting の議事録

② 2008 年 9 月 4 日に開催される IFSES Executive Board Meeting の議題

IFSES Executive Board Meeting では、現 IFSES 理事長である Dr. Thehmtton Udwadia の任期が満了となるため、後任が選出される予定であるが、本学会としては FELAC(南米)より推薦されている Dr. Jorge Cervantes を推すことが確認された。

また、2012 年の World Congress の開催地について決定されるが、本学会として ALACE が推挙しているアカプルコでの開催を推すこととなった。

12. 広報委員会報告

出沢明委員長より、ホームページ運営状況と新たに刊行する「News Letter」について報告された。

13. ガイドライン委員会報告

谷川允彦委員長より、「内視鏡外科診療ガイドライン」の発刊が報告され、協力に対して謝辞が述べられた。

また、金原出版株式会社との出版契約の締結について承認された。

なお、今回の出版にあたって、校正等の不手際があり刷り直しとなった経緯が説明され、その損失に金原出版と折半する形で負うこと、具体的には第1版（3,000部）分について著者印税を放棄することが提議されたが、この件については、改めて後日持ちまわりにて詳細を報告し決議することとなった。

14. 将来構想委員会報告

松本純夫委員長より以下の通り報告された。

①学会ホームページの教育ビデオクリップなどの掲載

学会ホームページに教育的なビデオなどを掲載することについて議論され、継続的に検討されることとなった。

②法人化のプロセス

公益法人あるいは一般社団への移行について検討していることが報告された。

具体的に検討するための小委員会を、将来構想委員会を中心に、財務委員会、規約委員会などともに6名程度で設立し、検討することとなった。委員長は松本純夫理事がつとめる。

③患者満足度調査の進捗状況

15. 第三者評価委員会報告

森川康英委員長より、厚生労働省よりの依頼により「医療の安全の確保に向けた医療事故による死亡の原因究明・再発防止等の在り方に関する試案－第三次試案」に関する意見をとりまとめ、日本外科学会に提出したことが報告された。

また、福島・裁判所において、いわゆる大野病院事件について判決があったことを受け、日本産科婦人科学会、日本周産期・新生児医学会、日本医学会より声明が出されていることが報告された。星合晃理事より産婦人科領域よりの意見として、不起訴となった現状を踏まえ、今後の成り行きを鑑みた上で声明を発表されたいとの示唆があった。

16. メディカル・チーム検討委員会報告

渡邊昌彦委員長より、第1回委員会を7月25日に開催したことが報告され、「内視鏡外科安全管理マニュアル」の作成を計画し検討していることが報告された。

17. 医工学連携推進検討委員会報告

森川利昭委員長より7月30日に第1回委員会を開催したこと、今後の方針について討議されたことが以下の通り報告された。

①委員会名称について、医工学連携委員会とすることが提議され、承認された。

- ②新しい機器の開発を通産省や厚労省との連携を進めるための勉強会の開催が提案された。
- ③工学系の類似学会とのジョイント・シンポジウムが提案され、検討された。
- ④医工学の連携について、現状認識について調査するため、評議員への認識調査を実施することとなった。

18. 技術認定制度委員会報告

木村泰三委員長より、技術認定制度について以下のように報告された。

①2007年度の技術認定実施状況が報告された。

泌尿器科：2007年度の応募総数は137名。JSESへの申請者は51名。

産婦人科：2007年度の応募総数は75名。JSESへの申請者は5名。また、118名の更新が行われた。

整形外科：2007年度の応募総数は31名。JSESへの申請者は0名。

消化器・一般外科：2007年度の応募総数は205名、合格者は90名（含：追加合格者）。

呼吸器外科：新たに選任された2名の新委員と協力し認定制度実施を目指している。

小児外科：今年度より小児外科領域の技術認定制度が実施されることとなった。

②泌尿器科、産婦人科領域の申請者、消化器・一般外科領域の追加合格者1名について提示され、全員を技術認定取得者として承認することが承認された。

③消化器・一般外科領域について、合併症の発生率が技術認定の可否による有意差があることが報告された。

④更新については産婦人科領域については本年度より開始し、他の領域については検討中であることが報告された。

19. 日本医学会の件

北島政樹理事長（日本医学会評議員）より、2月20日に開催された第75回日本医学会定例評議員会について報告された。

20. 大上賞の件

土屋了介学術賞委員長より、本年度の受賞者が報告された。授与式は総会にて行われる。

佐々木 章（岩手医科大学医学部外科）

また、伊藤賞との差別化のため、候補者の資格、選考方法などについて選考規約の改訂が提案され、承認された。

21. 伊藤賞の件

東原英二伊藤賞選考委員長より、本年度の受賞者が報告された。授与式は昨年と同じく総会にて行われる。

間 浩之（静岡県立静岡がんセンター大腸外科）

「結腸癌に対する腹腔鏡下手術と開腹手術の surgical site infection 発生率の検討」

（日鏡外会誌 第13巻第1号）

また、選考対象について、総会の開催時期と公平性の観点から、前年度の掲載論文を対象とすることなどが提議され、継続的に検討されることとなった。

22. カールストルツ賞の件

本年度の受賞者が北野正剛会長より報告された。授与式は総会で行われる。

- 1) 河原秀次郎（東京慈恵会医科大学附属柏病院外科）
- 2) 竹内 裕也（慶應義塾大学医学部外科）
- 3) 安田 一弘（大分大学医学部第一外科）

23. 第 21 回総会について

北野正剛会長より、第 21 回総会について、開会式には皇太子殿下に臨席賜る予定であるなど成功裏に運営されていることが報告された。

会長：北野 正剛（大分大学医学部第一外科）

日程：2008 年 9 月 2 日（火）～9 月 6 日（土）

会場：パシフィコ横浜（横浜）

※第 11 回世界内視鏡外科学会と共催、ELSA 2008（アジア内視鏡外科学会）と同時開催

24. 第 22 回総会について

小西文雄副会長より、第 22 回総会の準備状況について報告された。

会長：小西 文雄（自治医科大学付属さいたま医療センター）

日程：2009 年 12 月 3 日（木）～5 日（土）

会場：京王プラザホテル（東京）

25. 第 23 回総会について

森川康英理事より、第 23 回総会の準備状況について報告された。

会長：森川 康英（慶應義塾大学医学部小児外科）

日程：2010 年 10 月 18 日（月）～20 日（水）

会場：パシフィコ横浜（神奈川）

26. 2007 年度会計報告

星合昊財務委員長より、2007 年度決算報告がなされ、承認された。

27. 会計監査報告

宮野武監事より、2007 年度会計の監査報告がなされた。

28. 納税に関する報告

星合昊財務委員長より、2007 年 11 月 19 日に開催された理事会・総会での決議に基づき、過去 4 年分と当年度（2007 年度）分の税金を納付したことが報告された。

また、会計顧問として前波憲彦公認会計士を委嘱することとし、会計顧問料を予算立てしていることが報告され、承認された。

29. 2009 年度予算案について

星合昊財務委員長より、2009 年度予算案の提示があった。予備費の金額などを修正し、概ね提示通り承認された。

30. 新評議員について

大橋秀一評議員選考委員長より、本年度に寄せられた評議員申請 15 名と選考結果が報告され、審議の結果、以下の 15 名全員が選出された。

池田 佳史（帝京大学医学部外科）
井上 宰（岩手県立中央病院消化器外科）
大平 猛（自治医科大学消化器外科・救急医学教室）
岡田 敏弘（兵庫医科大学外科）
片岡 和彦（広島県立広島市民病院呼吸器外科）
北上 英彦（北見赤十字病院外科）
木下 敬弘（東邦大学医療センター佐倉病院消化器センター外科）
小山 伸夫（ART女性クリニック）
鈴木 裕（国際医療福祉大学病院外科）
関戸 仁（独立行政法人国立病院機構横浜医療センター外科）
田中 良太（群馬県立がんセンター呼吸器外科）
松村 直樹（東北労災病院外科）
山本 滋（昭和大学病院呼吸器外科）
宮代 勲（地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪府立成人病センター消化器外科）
利野 靖（横浜市立大学附属病院一般外科）

また、評議員申請に関する文章が統一されていないので、この機会に統一した文章に改めることが提議され承認された。

31. 名誉会員・特別会員推戴の件

下記の評議員が特別会員に推挙され、満場一致で承認された。

<名誉会長>

荒木 勤（日本医科大学）

<特別会員>

愛甲 孝（鹿児島大学）

跡見 裕（杏林大学医学部外科）

池内 駿之（国立病院機構東京医療センター外科）

塩崎 均（近畿大学医学部外科）

嶋田 紘（横浜市立大学大学院医学研究科消化器病態外科学〔第二外科〕）

橋本 大定（埼玉医科大学総合医療センター外科）

幕内 博康（東海大学医学部外科）

安元 公正（産業医科大学第二外科）

32. 第 24 回総会会長について

森川康英理事より、星合昊理事が推挙され、全会一致で承認された。

星合理事は快諾し、挨拶された。

33. その他

北島政樹理事長より、国際化の進展のために外国籍の名誉会員の就任について提議され、国際

委員会にて具体的に検討されることとなった.

2008 年 12 月 15 日

「日本内視鏡外科学会」総会議事録

会員各位

日本内視鏡外科学会

日時：2008 年 9 月 1 日（月）16：45～18：45

会場：パシフィコ横浜（神奈川）

総会においても，理事会における報告事項並びに審議事項が変更・修正なく承認されたので，議事録は理事会議事録をもってあて，省略する．

以上